

令和6年第4回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和6年4月18日 午後4時00分
- 2 閉会 令和6年4月18日 午後4時55分
- 3 会議に出席した委員
伊藤正徳教育長、田中早苗教育長職務代理者、太田孝雄、金田真也委員
- 4 会議に欠席した委員
高崎佐智江委員
- 5 会議に出席した職員

教育部長	増田直道
教育総務課長	川口 崇
学校教育課長	峠 尚良
生涯学習課長	山田達也
スポーツ課長	鈴木雅也
文化財課長	天野敏規
図書館長	是住久美子
教育総務課長補佐兼係長	木村真一

議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第4回定例会議事日程

日 時 令和6年4月18日（木）

午後4時00分

場 所 北庁舎3階 300会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 報告事項

- （1）教育委員連絡報告事項
- （2）令和6年度教育方針について
- （3）教育委員会令和5年度共催・後援事業について
- （4）令和6年度の主なイベントについて

4 その他

	開 会 午後4時00分
教育長	本日は、ご多用のところご出席いただきありがとうございます。 本日はすけれども、高崎委員から欠席の連絡をいただいております。よって、ただいまの出席者は4名となります。定足数に達しておりますので、これで令和6年田原市教育委員会第4回定例会は成立いたしました。 これより開会をいたします。
教育長	それでは、会議規則第13条第2項の規定によって、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、田中委員と金田委員の両名を指名させていただきますのでよろしくお願いいたします。
教育長	それではここから教育長報告に入るわけですが、新しい課長も入りましたので、まず自分から自己紹介をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 それでは、4月から教育長となっております伊藤といいます。何分市教委の経験がないということで、先の見通しが立たないという非常に不安の中、とにかく動くだけは動いております。今事務局に支えられて頑張っておりますので、また、何かあったら自分にぜひ、ご指導、ご鞭撻いただけるとありがたいと思います。よろしくお願いいたします。 では、田中さんからお願いしてもいいですか。
田中委員	職務代行者の田中早苗です。 2年目です。校区は、清田小、福江中です。息子が3人おりまして、高校生と大学生です。義務教育が終わってしまいましたが、引き続き田原市にはお世話になりますので、よろしくお願いいたします。
太田委員	教育委員の太田孝雄です。 2期目で6年半経過しました。文化協会のほうでも副会長をやらせていただいております。先日総会を行いました。教育長はじめ、課長さん、生涯学習課長さんご出席いただきましてありがとうございます。教育にかかわることしか分かりませんが、なるべく市民の目でいろいろなことを見られたらいいなというように思っております。 よろしくお願いいたします。
金田委員	教育委員の金田真也です。 2期目、最終年となっております。よろしくお願いいたします。 神戸でみかん農家をやっております。みかんを作っております。もう息子に全て任せてありますので、自分は息子に使われております。 よろしくお願いいたします。
教育長 教育部長	それでは、事務局ですが、部長さんからお願いします。 改めてよろしくお願いいたします。増田直道と申します。昨年、引き続

教育総務課長

きましてお世話になります。2年目です。どうぞよろしくお願いいたします。

4月から教育総務課長として配属になりました川口崇と申します。教育委員会は久しぶり、二十数年ぶりの教育委員会事務局となりますが、心機一転頑張ります。よろしくお願いいたします。

スポーツ課長

3年目になります。スポーツ課長の鈴木です。昨年に引き続きまして、またスポーツの振興のほうをより一層やっていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

学校教育課長

学校教育課長の峠 尚良と申します。2年目になります。どうぞよろしくお願いいたします。

生涯学習課長

4月1日、生涯学習課長になりました山田達也と申します。よろしくお願いいたします。異動して、1週間、2週間終わりましたが、さっそくいろいろな楽しいイベントがありまして、部長、教育長さんに支えていただきながら頑張りたいと思います。

よろしくお願いいたします。

文化財課長

文化財課長の天野敏規です。文化財は、何十年ということで携わっておりますが、課長としては4年目ということになっておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

図書館長

図書館長の是住久美子です。6年目になります。どうぞよろしくお願いいたします。

教育総務課長補佐兼係長

教育総務課の木村真一といいます。教育委員会は、田原町時代の平成12年から生涯学習課におりまして、そして令和4年からこの教育総務課3年目になります。よろしくお願いいたします。

教育長

というのが事務局のメンバーです。自分から見てもなかなか大したものだと思っておりますので、ぜひ委員さんからは、分からないことは聞いてデータを引き出して、それぞれのところでまた新しく考えて意見をもらうというのが教育委員会の根幹かなと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議題に先立って教育長報告をさせていただきます。教育長メモと書かれたものをご覧ください。

多分、全部話すと本当に長くなる可能性がありますので、これに従ってざっと自分の所感等を述べていきたいと思います。

4月1日ですけれども、市職員の辞令交付式を皮切りに教育委員会事務局、そして教職員の発令通知式、そして議員さんとの顔合わせなどを行ってきました。この中で、教職員の発令式ですけれども、実はここで新規採用教職員21人を採用いたしました。非常にフレッシュでやる気があり、現在もみんな元気にやっているといます。そして私たちが学校訪問を始める6月には頑張っている姿が見られるかなと期待をしております。その出身者を見ると、21人の中で田原の出身

者は4名だということです。

実は、自分は田原中学に3年おりました。田原中学は、それぞれの年で2人ずつ新任の先生を受け持ったのですが、その6人みんなは田原市外の出身者でした。その新任の先生も3年すればみんな羽ばたくように出ていくのですけれども、それでも田原市はその方たちに支えられているのは間違いありません。ですので、これは自分の勝手な思いですけれども、校長先生方にはやっぱり先生っていいよなど、そういう姿で子どもたちを指導できる先生を育て、そして子どもたちにはやっぱりその後を継いでもらいたい。これは他の職業を決して下にだとか、そういうふうに見ているわけではないですが、やはり教員が今足りない時代になっておりますので、やはり自ら進んで教育の道を目指す、そんな子を育てていただけたらありがたい、そのような言葉がけをいたしました。

4月4日からは小学校、5日からは中学校と入学式が行われ、こちらでも大きな問題なく行われております。それぞれコロナ以降、入学式にはあまり出席できなかった状況がありましたが、今現在は無事に進んでいってくれている、そう考えております。

それで4月9日からは、地域コミュニティだとか、それから少年少女発明クラブであるとか文化協会、まだここには出ていないですが、またスポーツ協会等、それぞれ生涯学習課、スポーツ課、文化財課、そして図書館と様々な団体等かかわっておりますので、自分はそれぞれ出ていって挨拶をしております。それで、出るたびに自分も太田先生と同じで教員だったものだから、教員の世界は詳しいのですが、他の団体というのは、なかなか触れ合う機会がありませんでした。今回出てみてやはりこういう人に田原の教育というのは支えられているんだな。教育はやはり学校教育だけというように教員は実は考えがちなのですけれども、外には支えてくれる人がいっぱいいる。やはりそういうのを感じることができました。偉そうに挨拶しながらですけれども、挨拶しながらもいざとなったらこちらを支えてくれる、そんな言葉もいくつか聞きましたので、自分は基本的には出席をして、できれば挨拶をしてという、そんな活動しかできないわけですが、できる限り自分として出られる団体との会合には出て、それで教育委員会を通じ学校をとにかく支えてもらう、そのようにして動きたいなと思っております。

出た中で、ちょっと自分がおもしろいなと思ったのは、4月13日の少年少女発明クラブというものですけれども、これは名前を聞いたことがあったんですけれども実際、自分は見たことがありませんでした。学校教育とは一歩離れた、昔で言う工作教室のタイプのものだったんですけれども、子どもは20人ちょっとしか今回いないんですけれども、

田中委員
教育長

ボランティアさんが13、4名いらっしやって、本当に手取り足取り教えてくれるのですが、ああだ、こうだというように言わないというか、子どもが基本的にこうしたいんだけどというときはアドレスをくれる。そういうことで、あ、こういうふうにして工作やりたいな、発明やりたいなというそんな気持ちを伸ばしている、その姿を見て、ああ、ものづくり愛知の原点はここにあるのかなと妙に感心した教室でした。

他にも多分こういうのは、スポーツだとか、文化財だとか、図書館にもこれからいくつも出てくるかなと思いますが、こういう学校の外での学びを子どもたちにもたくさん体験させてあげたいな、そのように自分は思っております。

そして4月18日現在に至るのですけれども、今日は全国学力学習状況調査が行われたはずですけど、また、その結果等見ながら、自分としては、この結果の点数でどうこうというのは全然考えておりません。子どもたちがこれでどんな勉強をしたらいいのかなというのを先生たちが十分感じ取って、そこから指導に生かしてくれればそれでいいかなと自分は思っております。

以上が私の報告とさせていただきますが、何かこれを見て、私にこんなことを聞きたいというのは委員の皆さんからありますか。

4月17日の市教育委員会所管施設訪問、どうでしたか。

ここはすみません。教育総務課長の運転で、公用車で僕と部長を乗せてもらって行きました。2日間出ました。田原方面と旧赤羽根、渥美方面と、それでそれぞれ施設を周って、施設の説明を受けてきたんですが、それぞれ施設そのものは充実していたというのが自分の意見です。ただ、どこの施設もストレートに言うと、やはり老朽化ですね。特に、雨漏りとエアコンについては、どこの施設もそろそろ直していきたいな、特に渥美方面のものについては、施設が大きいということで部長も頭を悩ませていたんですけれども、やはりその辺りは、市長部局にもしっかり伝えて、やはりあのような施設を通して市民が市も教育に力を入れてるな、あるいは市も文化だとか体育だとか、そういうものに力を入れてるなというのを感じますので、ぜひ直せるところは直すような、そんな予算立てをしていきたいとそう思いました。施設的には、3町時代にバラバラにつくったものもあるんですけれども、数ある教育施設の使い方を、これからさらに考えていけば、市民の皆さんの十分な生涯学習の機会になるだろうな、そんなふうには感じております。

よろしかったでしょうか。

そのほか、よろしいでしょうか。

では、ご質問もないようですので、続いて報告事項に入りたいと思

田中委員

います。

初めに、教育委員の皆さんからの連絡事項を順次お願いしたいと思いますので、では田中委員からお願いしていいですか。

3月29日、教職員退職者辞令交付式に出席しました。

鈴木教育長のかけられた言葉で印象に残ったのが、定年ではない退職という選択をされた方に、それが最善であると背中を押されたことです。今後ゆっくりされる方や、新たな場所で再び活躍される方といういろいろだと思いますが、いままで児童生徒を導いていただき、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

続いて、4月1日に教育委員会事務局職員辞令伝達式、教職員発令通知式に出席しました。

発令通知式で伊藤教育長が校長先生方に選択を迫られたときに迷うなということ。トップが迷うと全員が揺らいでしまうということ。また、教頭先生方にはそういった場面で進言する場合、あくまで自分の意見として伝えること。また、そういった政策は自分が校長になったとき役立つという言葉をかけられました。自分一人のための決断よりも、学校を背負っての決断はとても重いと思いますが、それができる人たちが集まっていると思います。先生方が何かその選択をしたり、決断をするとき、教育長の顔を思い出すのではないかと思います。

続いて4月5日に市町村教育委員代表者会議に出席してきました。

生きる力を育む学校教育という項目での、教員への期待という文章があり、その中に教員は保護者や地域の人々からの期待に応え、信頼を得ていかなければいけないという一文があり、これが重荷ではないかという意見がありました。確かに私もいろいろな児童生徒にかかわり教える上で、大切なことだとは思いますが、わざわざ明文化すると必要以上のプレッシャーがかかってしまうのかなと思いました。昨今の教員不足が深刻な今、大変さよりもやりがいを伝えてほしいなと思いました。

東三河小中高特連携教育推進事業内の穂の国未来セッションでの参加できる学科に教育科はありませんでしたので、教育科というか、教育コースも加えてほしいなとお伝えしました。

次に、私がもっと活用してほしいなと思った取組は、SNS相談愛知子ども相談です。これは、ラインで相談できるのですが、現代の子どもは電話が苦手な子が多く、またラインですと家族にばれずに物音を立てずというか、こっそりと相談できてとてもいいなと思いました。ぜひ、全員登録してほしいなと思いました。

以上です。

教育長

はい、ありがとうございました。

金田委員

それでは、金田委員よろしくお願いします。

年度末、年度初めと節目の様々な行事に参加させていただいたんですけれども、2点に絞って報告させていただきます。

まず1つ目は、教育委員会の表彰式です。それは規約上本当にしようがないですけれども、個人的にはトヨタ自動車のニューイヤー駅伝優勝のアナウンスをできれば、アナウンスというか、表彰をしてほしかったとそうふうに思いました。

2つ目ですけど、教職員退職者辞令交付式ですけれども、退職者の代表、小林啄先生の言葉から、教員人生を全力で走り抜けたというのが伝わってきて、頭の下がる思いでした。

また、退職者教諭を知った知り合いの方に、あの先生が辞めるのは非常に残念だという言葉を書きました。その先生がいなくなると恐らく現場が大変になるんだろうなと思った以上に、そう言われるまでに成長したその教諭を尊敬しました。また、そういった先生を育てた周りの人や環境はすばらしいなと、そんなふうに感じさせていただきました。啄先生が積み重ねてきた教員としてのキャリアを今後の人生に生かしたいと思う、その言葉を大事にして生きていってほしいなとそんなふうに感じました。

自分からは以上です。

教育長

はい、ありがとうございました。

それでは太田委員お願いいたします。

太田委員

私もみなさんと同じ、年度末、年度初めの辞令交付式のほうへ出させていただきました。年度末の辞令交付式、退職者の辞令交付式につきましては、退職される方々の人生の節目となる充実感の中に、一抹の寂しさのようなものを感じました。

年度初めの辞令伝達式、大変新鮮さの中に意欲に満ちたような、そういう姿がとても印象的でした。

先ほど、教育長先生が新規採用者が21名のうち4名しか地元がないということでしたけれども、私も新規採用者の顔ぶれをずっと見てみると、2名は私が赤羽根中時代にかかわった生徒でしたので、中学生から教員になったという10年余りの間の成長の姿が見られて、大変自分としては力をいただいたなということを感じました。

以上です。

教育長

はい、ありがとうございました。

それでは次に、報告事項（2）令和6年度教育方針について1枚の資料でありますけれども、まず自分から教育方針を説明した後、事務局各課からそれぞれの取組についてご報告をしたいと思います。

まず、教育方針ですけれども、「先の見えない時代だからこそ、確実な一歩を」。副題ですが、子どもたちの笑顔を引き出すふるさと教育へ

の取組みとさせていただきます。

一番変わったところは、もうコロナという言葉は取りました。ただ、コロナを通して、いろいろなことが縮小し、取りやめだとか延期だとか、そういうことになったわけですが、では今、コロナが5類になって終わったからといって元に戻ったかということではないと。やはり戻していいことと、そうではないこと。さらにプラスそれにデジタルであるとか、AIであるとか関わってきますので、教育の世界もどのようにみんなで進んでいこうかというのを本当に悩み、そして模索するそんな時代に入ってきたのかなと自分は考えています。一般的に先の見えない時代というのはよく使われるわけですが、そういう世界を行くんだけれども、やはり一歩、一歩地に足をつけて進んでいきましょう、そして市の教育大綱であるとか、市の教育振興計画の柱となっているふるさと教育、それを取り入れて、田原の教育は進んで行くべきだ、そのように考えました。

前教育長からも言われているんですけれども、ふるさと教育、これは主体によって見方は変わるんですが、ふるさと学習は確かに地域の人、もの、こと、それを上手に活用して、やっぱりここ田原はいいよね、そんな思いを子どもたちに育てる。これは間違っておりませんが、自分としてはさらに、身の回りの人やものやことから、いいことを見つける。つまりプラスの思考で回りを見られる、そんな姿勢を子どもたちに身につけさせたいなと。つまり、身の回りのいいことというのが、常に目に行くような子ならば、たとえ田原を出ても、それぞれの地で上手に生きていけるだろう。そして市長はよく言いますが、たとえ外に出ても帰ってきてくれるような、最終的にはふるさとの良さというのは必ず生きているものだから、それを子ども時代に十分堪能できれば、老後になっても戻って来れるそんな子を育てていきたいな、そういう思いもこの副題の中には入っていきます。

それで重点目標ですが、基本的にふるさと教育というのを副題に取り上げておりますので、身の回りの人やもの、ことから課題を見つけて、自ら工夫して解決していけるような教育活動、これははっきり言って学校教育ですね。学校教育がやはり昔みたいに一方通行の授業ではなくて、やはり探求であるとか、それから模索であるとか、そのような自らが勉強してるな、あ、分かったぞというような、そんな授業を展開する。それを各学校には求めたいと思います。

あわせて、学校教育課も生涯学習課もそうですけれども、一つの機関だけではそれは効果が薄い、うちにも6つの課がありますので、それぞれ横の連携を取りながらやっていくとよりいいのではないかと、それが2番目のところに入っております。

3番ですけれども、これは学校の先生方にも言ったんですけれども、

教育総務課長

学校はあくまで地域の中にあり、そして地域にサービスを提供する行政、やはりこの3者が手と手を取り合えるような、そんな関係あり方を模索したいなど。特に学校については、教頭先生を中心に、地域とはよくかかわってくれているかなと思いますが、よりその結びつきを強めてもらいたい。それから行政は、それぞれの各課がすばらしい取組をしているものだから、一番分かりやすいのが出前講座というような、あるいは、図書館であるとか、博物館が行っているイベントですね、こういうものを上手に利用し、子どもたちが参加できるような、学校では見られないようなこんなものが見れたぞ、そのような喜びを子どもにそれからさらにそこから流れて保護者に伝えるようなそんな活動をしてもらいたいな。ということで、本年度の重点目標は、3つこういう形でつくらせていただきました。

では、これを受けてそれぞれの課がそれぞれの取組をつくっていただいておりますので、まず、教育総務課から説明していただいていいですか。

それでは、教育総務課から報告させていただきます。

教育総務課、「良好な教育環境づくり」といたしまして、1つ目の丸ですけれども、田原市総合教育大綱・教育振興基本計画と着実な推進ということで、令和3年度から令和7年度までの5年間の計画期間としております田原市総合教育大綱・教育振興基本計画に基づき進められる教育委員会の業務全体の振興管理、こちらに取り組んでまいりたいと思います。

2つ目の丸ですが、学校施設の長寿命化対策と施設の計画的な整備改修の推進ということで、昨年度に引き続きまして、童浦小学校の屋内運動場の改築工事、こちらを進めてまいりますとともに、童浦小学校の屋内運動場の空調設備設置工事を行うほか、田原中部小学校をはじめとした屋内運動場の照明器具のLED化など、長寿命化の改修と合わせて、計画的に進めてまいりたいというように考えております。

3つ目の学校プールの集約化と効果的な運用方法の検討でございますが、この学校プールの集約化につきましては、令和2年度から事業に取り組んでおりまして、令和3年度から実証調査を進めてきておりまして、本年度も実施をしております。この実証調査の状況を踏まえてまして、今後、民間施設の活用でございますとか、現在検討を進めております市民プールの活用など、効果的な運用方法を今後検討してまいりたいというように考えております。

教育長

ありがとうございます。

では、学校教員課よろしく申し上げます

学校教育課長

学校教育課でございますが、「ふるさと田原で子どもがきらり輝く学校教育の充実」というところは、昨年度同様でございます。

教育長

生涯学習課長

1つ目のふるさと学習をはじめとした探究的な充実というのが昨年度と変わっておりまして、ふるさと学習、ふるさと教育の充実、あるいは進化といったことがこれまで述べられていたと思いますが、教育長の重点目標を受けまして、ふるさと学習、ふるさと教育の充実はもちろん行っていくわけですが、やはり探求的な学習の充実というところに重点を置きたい、各教科における問題解決的な学習の充実、それからキャリア教育の充実も含めて、ふるさと教育をさらに進めたいということでございます。

2つ目は、昨年度と同様でございますが、タブレット端末を活用するというだけではなくて、今後は情報活用能力を育成していくというところに重点を置いて取り組んでいきたいというふうに考えております。

3つ目、地域や関係機関等と連携した学びの場や居場所づくりです。少し分かりにくいと思いますが、これには3点大きくございます。

1つは、中学校休日部活動の地域移行後の休日の活動の充実ということで、学びの場、居場所づくりというように捉えております。

もう1つは、不登校対策でございます。学校だけでなく、地域関係機関と連携した学びの場、居場所づくりということで不登校対策が2つ目になります。

それから3つ目といたしましては、学校運営協議会、あるいは地域学校共同活動の充実、この3つをこの1つに込めております。以上の大事な3点でございますので、そこに力を入れていきたいと考えております。

以上です。

はい、ありがとうございました。

では、生涯学習課お願いします。

生涯学習課は、「未来につながる生涯学習の充実」として、3本の柱、これは昨年度と同様の内容ですけれども、各項目について少しだけ補足をさせていただきます。

まず、1点目のライフステージに応じた学びの推進でございますけれども、もともと生涯学習ですので小学生から高齢者まで、幅広い年代に様々な学びの機会などを提供させていただいておりますけれども、ただ、時代に求められているようなそういう中身であったり、あるいは講座内容などを集約化して、もっと効率的に事業を開催するようなそのようなことを取り組んでまずは進めていきたいというように考えております。

2点目、学びのための情報提供の充実というところです。手持ちの情報、いろいろなイベント開催情報などがございまして、SNSなど充実はしておりますけれども、より早く正確に情報を発信できるよう

教育長

スポーツ課長

に、例えばユーチューブなどを通して参加者を募るですとか、そういったことの取組なども少し検討をしていきたいというように考えております。

最後になります。学びを支える環境の充実ですけれども、今現在、私ども生涯学習課として政策の課題としても挙げられております市民館から使い勝手のいいコミュニティセンター化ということが私どもに課せられた今課題となっております。コミュニティセンター化すれば、今までの市民館よりも柔軟な使用、利用できるということもございますので、その辺りは地域との兼ね合いもございますので、しっかり勉強しつつ、合意形成を図った上でコミュニティセンター化ができるのであれば、その対応を取り組んでいきたいと思っております。

また、もう1つ児童クラブの民営化という課題もございます。可能であれば、本年度内にこの児童クラブの民営化は具体的に取り組んでいき、来年度には何かしらのお示しができればというように考えて取り組みたいです。

以上です。

ありがとうございました。

では、スポーツ課お願いします。

お願いいたします。

スポーツ課といたしまして、スポーツの力で地域との絆づくりをメインといたしまして、最初の丸ですが、スポーツに親しむ機会の充実とスポーツ人口の拡大ということを掲げております。各スポーツを実施する団体等がございますので、連携をしながらスポーツを推進していくためのPR等をやっていきたいと考えております。

2番目、ふるさとを体感できるスポーツイベントの開催の継続と継承という形で、こちらはウォーキング大会、ロゲイニング大会等地域の景勝の地を回りながら、しっかりと体力づくりをしながら地域のいいところを見てもらう、そういう大会を継続していきたいと考えております。

最後になりますが、各種スポーツ全国大会等の開催とおもてなしによる地域社会の活性化といたしまして、2026アジア・アジアパラ大会がございますので、そちらを実施するに当たりまして、プレ大会、また、中部実業団駅伝のような全国につながるような規模の大会のフォローアップをしていきたいと考えております。

また、同時に他部局、観光部局等と連携しながらおもてなしによる田原市の魅力のPRをしていきたいと思っております。

以上になります。

教育長

はい、ありがとうございました。

では、文化財課お願いします。

文化財課長

よろしくお願いします。文化財課です。

「守り伝え、感じる ふるさとの文化財の継承」というのを大きな方針とさせていただいております。

3つ目標がありまして昨年とほとんど変えてはおりません。

1つ目の目標です。ふるさとの文化財の研究調査・整理、保護管理体制の充実となります。こちらにつきましては、長く伝えてきております文化財、市内にあります文化財を引き続き研究調査いたしまして、整理をして長く後世に伝えていくというのが我々の仕事の基本となっておりますので、こちらを充実させていくということでございます。

2つ目の目標、博物館資料のデジタルアーカイブ化による公開と活用の推進、こちらも昨年と変えていないですが、こちらのほうも収蔵品管理システムというシステムを博物館に入れていただいておりますので、そちらへ収蔵品の台帳を写していきながら、公開できるものについては公開をしていって、学校授業でも活用していただけるような形で博物館資料をデジタルアーカイブによる公開をしていくと、それを推進していきたいということがございます。

3番目、これは昨年と少し変えたところがあります。

文化財を活用した学校・地域・企業との連携の充実強化としてあります。加えたところは、今年度から企業というところを加えさせていただきました。既に文化財を活用して学校と地域とは連携をしているところではありますが、昨年度から市内の企業さん、具体的に言うとトヨタ自動車さんとか、他の市外の日産化学という除草剤を扱っているようなところですが、そちらと連携をしながら、特にシェルマ吉胡の史跡の管理というところを連携してやっていきたいというところがありますので、そちらを目標にさせていただいたところになります。

以上です。

教育長

はい、ありがとうございました。

では、最後になります。図書館よろしくお願いします。

図書館長

図書館のテーマは、「生涯読書の振興とふるさとに関する情報の編集と発信」ということで1つ目ですけれども、乳幼児から高齢者、障害のある人も生涯にわたって読書を楽しめる環境の整備ということで、それぞれの方にふさわしいような媒体の読書ができるような環境を提供するとともに、高齢者などで図書館に来られない方々には、積極的に図書館からアウトリーチでそちらに出向いてサービスを提供していきたいと考えております。

2つ目の田原に関する歴史・文化資源のデジタルアーカイブ化と利活用の推進ということで、ここ数年来、東愛知新聞と東日新聞の古い新聞のデジタル化対応を進めておりまして、見出しデータをオープンデータという誰でも利用ができるような形で提供を進めています。

こちらを推進することによって、皆さんのふるさと教育に役立つよ

教育長

うなコンテンツをどんどん提供していきたいと考えております。

3つ目ですけれども、学校図書館と公共図書館のDX化の推進ということで、今年度国の交付金を活用しまして、学校図書館システムを小中学校に導入することになっております。あわせて、1人1台タブレット端末から電子書籍を児童生徒がいつでも読むことができる環境を構築いたします。公共図書館におきましては、赤羽根図書館に自動貸し出し機を設置しまして、今までより利便性が高い図書館サービスを提供していきたいと考えております。

以上です。

はい、ありがとうございました。

では、自分の立てた教育方針から、それを受けて各6課、今説明をしてもらいましたけれども、委員さんのほうから、ここはもうちょっと聞いてみたいとか、質問などありましたらよろしくお願いします。

太田委員

学校教育課の3つ目の説明の中に地域や関係機関等と連携した学びの場や居場所づくりの中で、中学校の休日の部活動が減るということで取組を言われたわけですけど、小学校も部活動がもう全くなっているものですから、小学校についてはどのような取組を考えてみえるのか、あるいはまずは、今年は中学校というようなお考えなのか、その辺りについてお聞きしたいと思います。

学校教育課長

ここにつきましては、想定としては先ほど申しましたように休日の中学校の部活動が地域移行するものですから、休日の活動の充実ということを念頭に置いておりますが、小学校におきましては、3つ目に述べました学校運営協議会、地域学校共同活動の充実の中で、地区によっては地域学校共同活動として小学生向けの何々教室をやっている、あるいはやろうとしている地区がございますので、それらにつきましてはコミュニティスクールといいますか、地域学校共同活動に含まれていくのかなということと、それから、休日の活動の充実の中で、今後小学生の参加が可能というものも出てくるということも想定はしております。

教育長

ということで、まず、峠課長が言われたように、令和7年度に中学の部活動は地域移行ということで、今は部活動ということではなくて、土曜日、日曜日、週休日における子どもたちの活動の場を考えております。ですので、部活動がイコールでそちらに行くのではないですけども、その居場所づくり、それを体協、文協、ボランティア、様々なところに働きかけて全体計画を作ろうとしております。その中に先ほど太田先生が心配されていた小学生はどうするのかというようなところも入れられるようなそんな配慮も考えてはおります。ただ、なかなかまだ、全体がバシッと固まっているわけではありませんので公表はできませんが、鋭意努力はしているということだけは教育長として間違いはないと思っておりますので、よろしくお願いします。

	では、そのほかどうでしょう。
金田委員	私も教えていただきたいのですが、今度田原市総合計画ができましたよね。この田原市総合教育大綱とか、教育振興基本計画というのは、令和3年度から7年度までということなので、総合計画はできたんだけど、従前の教育大綱とか、教育振興基本計画については、新しい総合計画できたけど、今までどおりの流れで行うというそういう捉えでよろしいですか。
教育部長	総合計画がこれで改定されましたので、今後また見直しをしていきたいというように考えております。
太田委員	一応、この教育大綱とか、教育振興基本計画については令和7年度までということで前につくられたということで、令和8年度から今の総合計画に即したものに移行していくというそういうことですか。
教育総務課長	計画の中では、令和3年度年度から7年度までの5年間ですけれども、計画の冒頭でも田原市総合計画の改訂や必要に応じて随時見直しということもあるものですから、見直しについて考えていきたいと思います。
太田委員	随時、総合計画ができたのでそれに合わせて、これで見直していくということですね。
教育部長	いつ、具体的にバシッとやるというのはまだないですけども、当然、総合計画が市最上位の計画ですから、できた限りは各全ての市への計画というのはそれを見ながら変えていきますので、必要に応じて計画年度に改訂になったものについては改定をかけていきますし、総合計画を見て大きく変更になったものについては影響を受けていくと、ただ、総合計画も、ものすごく大きく変わっているところがあるというわけではないものですから、今のところはそういった方向でいいのかなというように考えております。
金田委員	分かりました。
学校教育課長	学校計画振興計画については、評価見直しを各学校に依頼しました。総合計画改訂に関して、大きな改訂は先ほど話がありました令和7年度に改訂作業を行うんですが、それに先立って評価見直しについて、各学校長に依頼をしております。
教育長	ということで、上が変われば下は必然的に変わらざるを得ないという、その原則は市としても持っておりますので、また、皆さんにはもしかしたらどこかで計画の策定にかかわってもらえるのかなと思います。そのほかいかがですか。
田中委員	学校プールの集約化についてですけど、福江のプールの進捗状況を知りたいなと思います。
スポーツ課長	スポーツ課が予算を持っておりますので、スポーツ課からお答えさせていただきます。

	昨年度PFIの方法の調査、どのような手法がいいのかについて調査を行いまして、今年度はDBOなどの方法を実施していけるのかというまず調査があります。今年度と令和7年度でどのようなものをつくるかというアドバイザー業務という形で業務を実施いたしまして、建設はその翌年、業者を募集してから行いまして、令和10年度中にオープンできるような形で実施できればという形で考えております。 大まかな内容といたしましては、25メートルプールの6レーンプラス、ちょっとした幼児用の市民プールの的なもの、あとはスタジオとかを複合した施設を多世代交流施設という形で今調整をしております。
田中委員	それに関してですけど、清田小学校の正門前が送迎バスのために整備されたんですけど、ほかの小中学校で送迎バスが入れるように改修が必要な学校というのはあるのでしょうか。
スポーツ課長	今、調査の中では送迎が課題と言いますか、その1つになっておりますが、送迎するためにここの学校はこういう状況だということはこのアドバイザー業務とは別になります。それとは別で、いろいろ調査していく形になると思いますのでよろしくお願いします。
田中委員 教育長	ありがとうございます。 よろしいですか。 ほかはありますか。
金田委員	図書館で、タブレット端末から電子書籍をダウンロードとあるんですけども、もう少し詳しく教えてください。
図書館長	今、図書館システムを入れて同時に、電子図書館サービスというのがいろいろな会社さんがやっているんですけども、一番のシェアが多いTRCというところの電子書籍の子どもたち向けの読み放題パッケージがありまして、その中からいくつか組み合わせて、朝読書ですとか、調べ学習ですとか、あと小学生と中学生が対象になりますので、中学生の子たちにとっても読めるような、ヤングアダルト世代のものから小学校低学年から6年生まで見えるようなものを今選定をしておりますので、そういったものが読み放題で見られるようなイメージです。
金田委員 教育長	ありがとうございます。 そのほかございますか。よろしいですかね。 また、もし何かあったらあとで聞いてください。 それでは次に、教育委員会の令和5年度の共催・後援事業について説明をお願いしたいと思います。
生涯学習課長	初めに生涯学習課からになりますがよろしいですか。 資料は、報告事項（3）資料になります。こちらの資料は令和5年度田原市教育委員会共催・後援事業についてご報告させていただきます。 この資料、1ページ目から4ページにわたりまして、令和5年度中

教育長
スポーツ課長

に118件の事業を共催または後援させていただいております。

そもそも共催・後援事業につきましては、各種団体が行う社会教育に関する諸事業により、社会教育の振興を期することを目的として田原市教育委員会が共催、あるいは後援の取扱いをさせていただいております。スポーツはスポーツで、また別に説明があると思いますけれども、まず、ご理解いただきたいのは共催事業につきましては、広く市民を対象にした公益性の高い社会教育事業を主に扱っております、もしこの教育委員会が共催事業として認めれば、田原市の教育施設の使用料に関する規則というものがございまして、そちらに定められた利用料の全額を免除させていただいております。共催事業については、利用料の全額が免除ということです。

後援事業につきましては、使用料の50%以内で減額をさせていただき、それぞれ教育委員会が内容をしっかり吟味して共催あるいは後援を判定して、各団体に頑張ってもらっているという状況でございます。

以上でございます。

はい、ではスポーツ課をお願いします。

次のページの1ページからのスポーツ関係のものになります。

スポーツのほうは、全部で共催が45件、後援が93件の合計138件の共催・後援を実施しております。

内容といたしましては、先ほど生涯学習課長から話もありましたとおり、こちらのほうは地域のスポーツ振興、ジュニアとかを含めていろいろな大会の運営の後援をしております。中学生の野球等、いろいろな大会がございしますが、後援することによって大会がスムーズに進むような形のフォローアップをしているものでございます。

また、今年度も既に共催・後援願いが来ているものでございますので、引き続き5年度と同様の形で実施していく予定でおります。

以上となります。

教育長

ということで、生涯学習課、スポーツ課ともにたくさんの共催だとか、後援事業を行っているという報告でしたが、それでは委員さんから、ここを聞いてみたいというのはありますか。

これについてはよろしいですかね。

それでは、質問もないようですので、次に、報告事項（４）令和6年度の主なイベントについて部長、よろしくお願いします。

教育部長

それでは報告事項の（４）の資料をご覧くださいと思います。

まず、こちらですけれども年度末に各市役所中の各部署が取りまとめたものを主に市議会議員さんとか、そういった方にお示ししたものを今回お示ししております。全部のご参考として、主な事業が載っていますので、全ての事業を教育委員として、また、市民の皆さんとしてご参考いただきたいというのがありますので、ただ、このオレンジ

で網かけした部分、これが教育委員会の関係のものです。まず1ページにおきましては、4月4日、5日のそれぞれ小中の入学式、2ページ目につきましては、中段の6月29日から7月13までの中学校の総合体育大会、次のページに行きまして9月28日のコンサートですとか、10月5日の新人体育大会、また、10月5日からの企画展、6日のオフロードトライアスロンギネス大会、それから11月1日から3日、11月2日、3日のそれぞれの文化祭、スポーツ交流事業というのがあります。

4ページに移りまして、11月9日の中部北陸の実業団駅伝大会の開会式と当日の話、それから11月のまだ予定ですけど、ロゲイニングの大会ですとか、12月7日の愛知県の各市町村の対抗駅伝、1月12日には二十歳の集い、それから2月2日、日曜日には渥美半島駅伝が予定されておりまして、最後のほうに行きますと、2月に移りますとウオーキング大会、3月には中学校の卒業式、そして小学校の卒業式がありますので、ご確認いただければというように思います。

また、教育委員さんにおかれましては、必要に応じて出席等のご案内を差し上げてまいりますので、お忙しいところですが、ぜひ、ご理解いただければ出席をお願いできればと思います。

そして、最後のところに春の交通安全運動、市が非常に力を入れているものですから掲示してありまして、市民の皆様と一緒に市も一緒にやっていくという表示ですので、委員の皆さんもぜひご理解いただきたいというように思います。

以上です。

教育長

令和6年度も大変たくさん行事が組まれております。また、ぜひ顔を出していただきたいというのが多分、中でいくつか出てくるかと思しますので、ご協力をお願いします。

それでは、今説明のあった令和6年度の主なイベントについて、聞いておきたいということがありましたらお願いします。

ここで質問等ないようですので、以上で報告事項をここで区切りたいと思います。

教育長

教育総務課長

それでは、そのほか、事務局から何かありますか。

資料の最後のページになりますけれども、教育委員さんの今後の出席の日程の案ということで、お示しをさせていただきました。

資料をご覧くださいますと4月18日、木曜日、本日の会議になります。

次回、5月21日の火曜日、教育委員会第5回定例会を13時30分から302会議室、こちらの庁舎のまた同じフロアの部屋ですけれども、その302会議室で行いたいと思います。

次々回は、6月12日水曜日の第6回定例会を13時30分から、同じく

教育長
文化財課長

302会議室で行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
その下の教育委員会関係イベント、先ほど年間の行事の中でありましたけれども、今後こういうのがありますよということでご紹介でございます。

以上です。

では、そのほかどうですか。

今日、配布させていただいた資料ですが、まず1つ目が今年度、令和6年度展示案内、博物館がどんな企画展、テーマ展を行っていくかを一覧にしたものでございますので、参考にしていただければと思います。

それからもう一部のほうは、シェルマ吉胡の利用の手引きというのを作りました。こちらは、市内の学校等に配布をさせていただきまして、学校の行事等でぜひシェルマ吉胡を利用していただきたいと、体験もいろいろできるよというご案内をさせていただいておりますので、こちらも参考にしていただければと思います配布させていただいたものになりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

教育長

そのほか、各課よろしいですか。

では、すみません、ここで一応全てが終わるんですけど、委員の皆さんから振り返っても構いませんので、ちょっと質問し忘れたというのがありましたらお願いします。

よろしいですかね。

それではないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第4回定例会を閉会とさせていただきます。

閉 会 午後4時55分

教育長

委員

委員

